

# あらかき通信



あらかき通信 第五回 2005年4月1日発行

(株) アラキ工務店

編集・発行 村上幸男

京都市右京区梅津高畝町52-2 〒615-0906

株式会社 アラキ工務店

TEL075-882-8668

FAX075-872-0223

ホームページ

<http://www.kyoto.zaq.ne.jp/araki/>

<http://www.kyoto-kozai.com/>

## いつまでも寒さが続きましたが 春めいた日も感じられるようになりました。

昨年は忙しく気がつけばもう12月になっていました。これも皆様のおかげと深く感謝いたしております。

お正月はゆっくりと時間も取れて少しのんびりすごせました。休み明けからまた忙しく動き回っています。毎日の仕事の多さがもう去年と同じペースになりかけていますが、今年こそ余裕を作って細かい事も考

える時間をさけたらなあと思っています。あわせてお得意様の所にも、今まで以上に顔が出せるような時間の使い方をしたいと思っているこの頃です。



いきなり「こんにちは～、お元気ですか。アラキです」とお訪ねすることもあろうかと思しますので、その節にはよろしくお願い致します。

代表取締役 荒木 勇

### 今年も「住まいは文化」の放映がありました

#### 住まいは文化

先人の知恵を継いでくれた  
住まいづくりの知恵

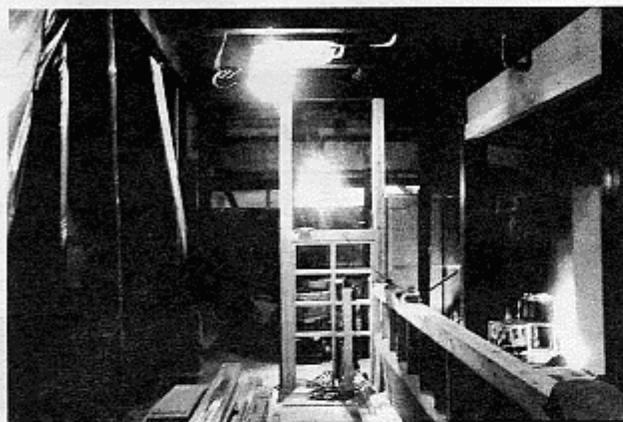
第10巻

鳥取県・大山町編

今回は鳥取県大山町「門脇家」でした。この放送も数えて10回目にあたります。会長も楽しんでいっています。何かまだまだ続きそうですが、うれしいことと思っています。くわしくは後のページにのせています。

# 町家を店舗に改修しました

短期間での工事は考えるよりも先に行動しないと  
間に合いません



大丸京都店から歩いて3分ほどのところで、店舗工事をやっています。戦前に建てられた京町家ですが、7寸もある大黒柱や、1尺もある登り丸太が大変立派だったので、そのまま生かしてお店として利用することになりました。



半間（約1m）ピッチで並ぶ側柱や大和天井もそのまま塗り直して生まれ変わる予定です。

1階の床ノ間もお施主さんの希望で潰さずに再利用しています。

3月9日が開店で、工期の短い工事ですが、何とか間に合いました。

1階がラーメン店、2階がとんかつ店です。

お近くにこられたら、皆さん是非食べに行ってくださいね！



# 12月にお引渡しをしたお宅です

かなり大きな家です。約半分弱のスペースは全面改修工事をし、残りのスペースは壁を塗り替えたり建具を直したりといった小規模の改修をしています。外部についても全面的に塗り直したり張り直したりしています。

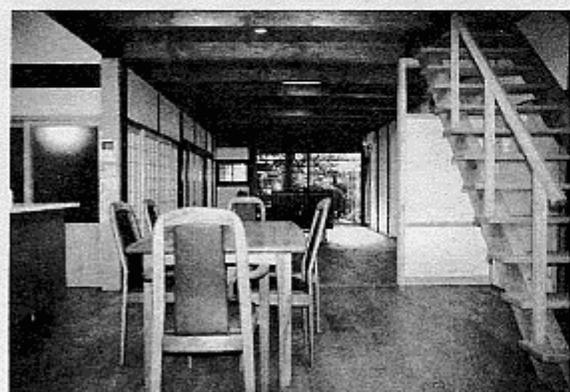
室内は柱を見せて、漆喰を塗り、無垢材をふんだんに使った温かみのある空間になりました。また、使い勝手がいいように設備は最新のものを使い快適にお住みいただけるようにしています。



## 焼板張りの外壁

漆喰仕上げの壁と従来の仕上げをそのままに延長しています。

手前は新しく作り直したガレージです。中ほどの出入口は勝手口で、玄関、門はここからは見えません。



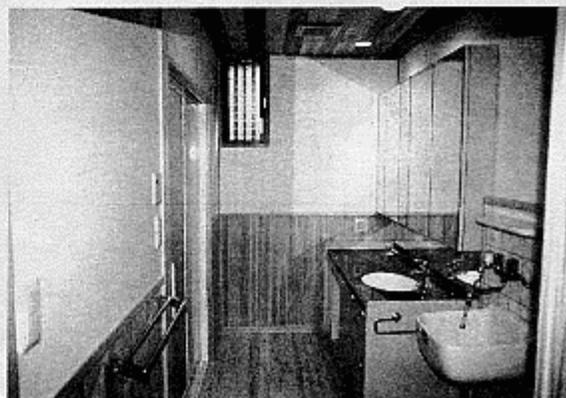
## リビングとダイニングキッチン

続き部屋のように並べています。それぞれがかなり大きい広さの部屋です。黒っぽい柱は昔からある紅ガラを塗った柱です。床はナラ無垢材のフローリングで、現場でまわりの雰囲気に合わせて着色しました

## 洗面所

腰張りは、桧小幅板無垢材です。床も桧1等節有り材です。桧といえども、このぐらいの材料はそう値段がはるものではありません。

隣に浴室があります。



## お施主さんに一言

今回は 松元 正 です



皆様今日は、私は植木工事と基礎工事それと外回りの工事などを主に担当しています。家の中の工事はほと

んどしませんので、植木の工事でお伺いしている所以外ではなかなかお目にかかる機会はずくないと思いますが、庭の事 植木のこと、肥料のやり方、毛虫の駆除の事など気軽にお聞き下さい。

アラキさんに来てからもう20年近くになります。今ではもう上から数えたほうが早い順になって来ました。これからも若い後輩たちと一緒に頑張っていきたいと思っています。



## 季節を感じる風景

1月～3月は受験の時期です。

皆さんも私も、多くの人々が悩んで苦しんで藁をもつかむ思いで（失礼な）神さんにも頼みました。その甲斐のあった人、はたまた無かった人。ここで見ているとホント昔の自分を見ているみたいです。

（ガンバレよ後輩たち）



### アラキが進めている古材の 利用の見学者が来社

大学の先生のグループということだったので、実際には先生方と、中国のお客さんでした。非常に熱心にお話を聞かれてあと倉庫にある古材の建具や材料などを見学されました。みんな大きな旅行カバンを抱えての移動なので大変でした。

# 住まいは文化

## 第10回鳥取県大山町

お正月放映のビデオと写真を放送局から送って来たのでここに一部紹介します  
大庄屋の門脇家におうかがいしています

### 住まいは文化

是非人形が飾りつけてくれた  
住まいづくりの知識

第10巻  
鳥取県・大山町編

タイトルが出て始まりです



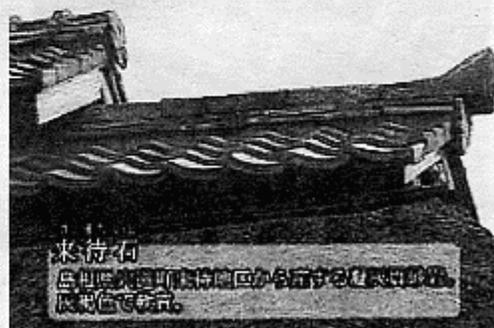
白井貴子さんとアラキ会長の紹介と  
いろいろなお話し



ここが正門です

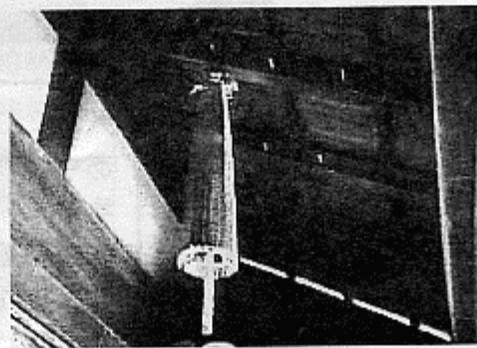
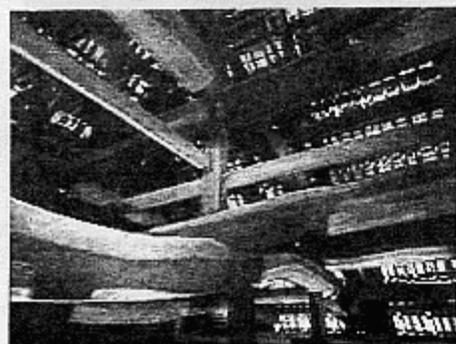


外壁はヨロイ張り



屋根の棟は来待石（石材）で造られている。（重くしている）風の強い地域です。

太くて大きい梁（牛梁）の屋根組み



玄関の軒先にある  
カサ掛け



昔、防犯のためにつけた捕物道具



座敷内部の説明や、門脇さんのお話を聞いています



桃の形の釘カクシで柔かい印象



奥の住居から見る庭

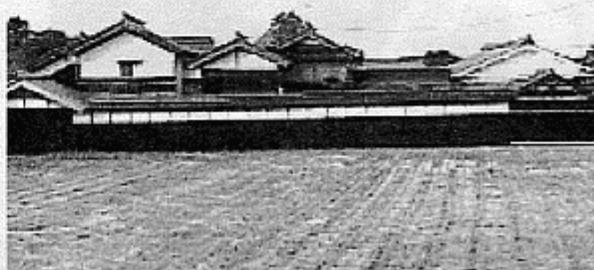
お客様用の湯殿  
目の前のオケにお湯を入れて  
使うのだそうです



外から見た全影



茶室もあり、その天井  
掛込天井です



米倉も何棟もあり他に水車小屋や  
大工小屋などもあります



大きくて太い構造なのに内部は繊細な造りもあり昔の大庄屋の生活の一端がうかがえる建物です。

200年以上もたっている家ならではの年輪が感じられる貴重な建物です。

## 第3回

### 家の外壁の点検をしてみましょう

皆様の家の外壁を見てみましょう。いろいろな仕上げがあります。昔ながらの焼板張り、漆喰塗り、モルタル下地の上にアクリルリシン吹付け、または吹付けタイル。あるいはセメント系サイディング張りや金属サイディング張りなどいろいろあります。またはそれらを組み合わせて使ったりしている場合もあるかもしれませんが、大方はこのような素材だと思います。

それぞれに一長一短がありこれなら何10年でも大丈夫というものはありません。どの素材も必ずメンテナンスや補修が必要です。それぞれの目安を考えてみましょう。

・**焼板**は案外長く持ちますが、劣化してくると薄くなりところどころに穴が開き始めます。また、板のそりが目立ち始め目地部分がすいてくるようだと張り替えの時期だと思います。

・**漆喰**は劣化してくると表面がひび割れて剥落してきますが、その前に少し下地から浮き出してぷかぷかした感じが出てきます。こうなれば剥落は時間の問題なので早めにご相談下さい。

・**アクリルリシン**は吹付けて10年くらい経つころから雨水のしみ込みが目立ち始め色もだいぶくすんできます。壁のひび割れは下地がモルタル塗りなので少し発生するものですが、目立つようならひびの補修と同時にリシンも塗り替えるのが良いかと思えます。

・**吹付けタイル**もリシンと同様、ひび割れ

が目立ち始めると、補修と塗り替えは必要だと思えます。リシンよりも耐用年数は長いのですが、15年経過ぐらいには表面の撥水性が失われていきますのでこの辺りから注意したほうが良いでしょう。

・**セメント系サイディング**はセメント材の工場加工品です。表面に塗装してある事で撥水性とデザイン性を持たせています。この材は表面の塗装が劣化すると内部がセメントでできているため水分を吸い込みやすいので注意が必要です。表面の塗料が手でこすって指につくようなら上塗りを考えるべきです。**金属製サイディング**も同様に考えれば良いと思えます。

新築工事や改修改築工事をされた方は、10年経ったぐらいだと、ついこの間に工事をしたようにおっしゃられます、でもよくよく話をしていくと、「エ～もう10年前になるの、ついこの間と思っていたのに！」という事が多いです。10年経つといろいろな設備が少しずつ痛み出します。湯沸器やエアコンの故障、便器の水が止まりにくい、新築時に買った洗濯機やテレビが調子が悪い等いろいろありますが、家もポチポチ注意する時期です。外壁なんてまだまだとお思いでしょうが、寒暖の激しさ、風雨の激しさ、このごろは酸性雨などに耐えています。遅いと手遅れになる事もありますが、多少早いのは簡単な工事ですみますのですぐには申しませんが、状態には気をつけてまめに観察するようにして下さい。

去年10月から頑張っています

廣田 薫 です



アラキさんで仕事を始めてもう約5ヶ月経ちます。

お客さんの名前がなかなか覚えられなくて、いろいろと失礼やご迷惑をおかけしているとは思いますが、なにとぞ宜しくお願い致します。

てきばきと日常業務を進めてくれます。何を頼んでも上手にこなしてくれますので大いに助かっています。



いろんな所からさまざまな  
お話しが入ります

先日全国安心工務店一覧（アラキも載っています）という本を出版している所から、改訂版を出すので今回も原稿を書いてほしいと連絡が入りました。今回は私村上が改訂版の原稿を書きました。少し詩的なアピールも入れて自分では前回版より多少はいいかと思っています。

昨今このような紹介本や職人さんの仕事振りを特集したものがたくさん出回っていますが、知識だけたくさんあり、実物や製作工程はあまりよく知らないという人々が増えています。難しい仕事を簡単に出来るように要求されて困る場合もしばしばありますが、できるだけ説明をして理解していただき、そのうえで施工するように心がけております。



祇園の白川新門前橋から

### 編集後記

正月休みが明けたとたんに、仕事がフルスピードで回転しだして、休み中にいささか緩んだ頭では暫く追いつかず、アレアレと思うまもなくもう3月の下旬になりました。

いろいろな人から、よく見えますよと言っていたくとうれしく思い、今年もたくさんの皆さんに助けていただきながら、年4回このアラキ通信を発行することを守っていきたいと思います。宜しくお願い致します。

村上